

## 2023年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘C) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

受入担当 教員	所属・職	大学院言語コミュニケーション文化研究科・教授
	氏名	于康
海外客員 教員	所属・職	北京交通大学・副教授
	氏名	張亜峰
招聘目的	1. 授業担当及び研究 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 共同研究 <input type="checkbox"/> 3. 特別枠 <input type="checkbox"/> (いずれかに○)	
招聘期間	2022年9月10日～2023年8月15日	
成果報告 以下の内容を日本語で記載して下さい。	張亜峰先生は、招聘Cとして、大学院言語コミュニケーション文化研究科において、日本語の動詞誤用を中心に研究を進められてきた。	
1. 授業担当及び研究	于研究室で作成した『YUKタグ付き中国語母語話者日本語学習者作文コーパス』Ver. 12から抽出したデータを対象に、中国語母語話者日本語学習者の動詞の誤用メカニズムを明らかにすることを目的としていた。	
(1) 授業科目名	ゼミや研究会、研究合宿、国際シンポジウムの発表を通して、少しずつ研究を深めてきた。	
(2) 授業担当の成果	2023年8月5日～6日に北京理工大学で開催された「2023年日本語の誤用及び第二言語習得研究国際シンポジウム」で「应该使用「知る」， 还是「知り合う」？」と題して、口頭発表をした。	
(3) 研究の内容	その成果として、『日本語の動詞の誤用研究』の執筆に加わり、「3.10 应该使用「知る」， 还是「知り合う」？」 「3.12 应该使用「知る」， 还是「理解する」？」を執筆している。	
(4) 研究の成果		
2. 共同研究		
(1) 共同研究の内容		
(2) 共同研究の成果		
3. 特別枠		
(1) 活動内容		
(2) 成果		

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

\* 本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます